



# 志木中だより

4月号 平成30年4月9日

【学校教育目標】

- ・考える人
- ・思いやりのある人
- ・たくましい人

志木市立志木中学校 志木市柏町3丁目2番2号  
 048(471)0143 FAX 048(474)6592  
 URL <http://www.shikichu.ed.jp/>

校長 小林良昭

## 『夢を持ち、目標を持った第一歩を』

### 1 よろしく願ひいたします

3月に咲き始めた桜の木々は、新緑の若葉をつけ始め、春を感じる今日の日を迎えました。

お子様の進級・入学を心よりお祝い申し上げます。

このたび、飯田 寛先生の後任として4月1日着任いたしました小林良昭です。前任者同様、何卒、よろしく願ひいたします。

本年度は新入生182名を迎え、1年生5学級、2年生4学級、3年生5学級、かしわ学級の合計16学級、全校生徒521名で出発します。今年も、素晴らしい志木中学校の生徒たちがさらに磨きをかけ成長できるよう教職員一同全力を尽くして参ります。お子様たちも今日の日を新たな決意をもって迎えられたことと思います。新年度を迎え教職員も入れ替わり、各学年とも新たな体制でのスタートとなります。職員一同、子どもたちのよりよい成長をめざし、努力してまいりたいと思います。どうぞよろしく願ひ申し上げます。

開校以来脈々と受け継がれてきた校風のもと、生徒一人一人を光り輝かせて行くために、全教職員一丸となって努力して参る所存ですので、本校の教育活動に、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 2 大人になるための基礎を築く

中学校は「大人になるための基礎を築く学校」です。

時にはきびしく、鍛えるべきことはきちんと鍛えなくてはならないと考えています。学校と家庭と地域が一体となって、子供たちを社会に通用する大人に育てていくことができるよう、何卒ご理解とご協力をお願いします。

### 3 伝統の上に「夢・感動・輝き」を育てる

「夢なき者は目標なし 目標なき者計画なし 計画なき者実行なし 実行なき者成果なし 故に 夢なき者に成果なし」 古人の言葉です。いろいろな言い回しがあるようですが、いずれにしても夢を持つことが大切ということを行っています。何でもいい。大きな「夢」をもって語ることが大切。そして、何かに拘り努力することが大切です。中学生とは、限りない可能性に満ち溢れています。

本校は感動を沢山感じられる学校です。生徒たちが懸命に取り組む姿に大きな「感動」を覚えます。それは、そこに、ひたむきな努力や絆が感じられるからだと思います。何ごとにも努力をすることが感動を生み、それを育てます。そして「輝き」。志木中学校の生徒たちが夢を抱き、その実現に向けて一人一人が輝いてこそ、伝統にも繋がるものと言えます。

なにとぞ、よろしく願ひいたします。

#### 学校教育目標 《目指す生徒像》

##### ・考える人

- 志ある生徒
- 生きてはたらく学力をもった生徒
- 表現できる生徒

##### ・思いやりのある人

- 素直な生徒
- 感謝できる生徒
- 正義を重んじる生徒

##### ・たくましい人

- 明るく朗らかな生徒
- 自らを鍛える生徒
- しっかりと人間関係を築ける生徒



# 志木中だより

5月号 平成30年5月1日

【学校教育目標】

志木市立志木中学校 志木市柏町3丁目2番2号  
048(471)0143 FAX 048(474)6592  
URL <http://www.shikichu.ed.jp/>

・考える人  
・思いやりのある人  
・たくましい人

校長 小林良昭

## 『Brandの力』

### 1 「Brand」のもつ力

入学、進級してから既にか月が経ちました。各学年での生徒たちの様子は、それぞれの学年の自覚と今年一年頑張ろうという決意を感じさせます。3年生は3年生らしく引き締まり、2年生は先輩になった誇りをもち、1年生は新たな決意をもって臨んでいる様子が伺えます。

さて、このか月を振り返って何か気持ちの変化を感じたでしょうか。目標に向けて、できることを始めているでしょうか。

最近、企業の中でも変化がみられるようになってきました。それは、「本物志向」「偽物志向」ということが問われ始めている様子です。企業側では、「ここ数年の日本経済は、リストラ、食品の偽装と明るい話題は無くなってしまい、何か大事な物を落としてここまで成長してきたような気がする」と。

例えば、「エルメスというメーカーがあるが、エルメスには160年間の歴史があり、職人が自分のイニシャルを刻み、自信をもって製造している鞆バックがある。しかしユニクロ等で売られている中国産のビニールバックは、カバンとしての機能は同じ物。ただビニールの方は、手入れをしてもしなくてもすり切れるまで使える。その反面、エルメスは、きちんとオイルで手入れをしなければ、すぐぼろぼろになってしまう。ただ手入れをすれば孫子の時代まで使えるもの。値段については比較できないくらい違っている。本物をまねし続けることではなく、工業製品だからこその本物とは、異なる機能や良さがたくさんあり、低価格であると明確にいえ

るようにならない」と、話されたそうです。

本物と偽物の大きな違いは、本物は消費者が使い込めば使い込むほど、味がでてくるが、偽物は消費者の手に、渡ったとたん古くなってしまふ・・・と。この話しを受けて、学校生活の中にいる自分自身に置き換えて考えてみると、本物の志木中生、本物の上級生としての自覚と責任をしっかりと持って、学校生活を送ってもらいたいと思います。「本物志向」「偽物志向」・・・自分自身は、どちらなのか、しっかり考えてみましょう。

### 2 志木中学校の「Brand力」

生徒たちがこれまで築いてきた信用と信頼には大きなものがあります。卒業生をはじめ、在校一人一人が活躍している、頑張っているという話を聞き、さらに近隣から生徒のよい評判を聞いた時、志木中のもつブランド力は、大いに高まっていると感じます。ゆえにブランドとは信用と信頼につながっていくものと考えます。志木中が地域で信頼されていくために、教職員も一丸となり、努力を惜しまず「志木中Brand」と言われるような学校になっていきたいと考えます。

志木中の目指す学校像『連携を活かした華のある学校～生徒一人ひとりが夢の実現に向かって前進する学校～』を受け、キャッチフレーズを

『夢・感動・輝き』としました。この3つをキーワードにして、一歩ずつ前進していきたいと思ひます。



# 志木中だより

6月号 平成30年6月1日

【学校教育目標】

志木市立志木中学校 志木市柏町3丁目2番2号  
TEL 048 (471) 0143 FAX 048 (474) 6592  
URL <http://www.shikichu.ed.jp/>

・考える人  
・思いやりのある人  
・たくましい人

校長 小林良昭

## 『環境は人を生み出す』

### 1 グッド・フィーリング効果

～人は環境をつくり、環境は人を生み出す～

私たちは心地いいと感じる環境と一緒にいると相手に好感を抱きやすくなると言われていています。心理学者グリフィットが行った調査によると、環境が感情に影響を与えるそうです。初対面の男女を「自然光の明るい部屋」と「ソファや音楽で心地よくなる薄暗い部屋」に入れ、様子を数時間観察した処、当然、後者のグループが、圧倒的に会話が弾んだそうです。これは心地よい環境が人の心にリラックス効果を与え、一緒にいる相手への好感度もアップしたと考えられています。要するに気分がいい時に誰かと一緒にいると、脳がその気分の良さを相手によるものと勘違いしてしまい好感度がアップしますが、その気分の良さは相手によるものと脳が勘違いしてしまうことを言います。一緒に会話する時には、雰囲気の良いお店や景色の素晴らしいところを選ぶとお互いの好感度が高まるそうです。さて「グッド・フィーリング」という効果を学校生活に置き換えてみると、「教室に入った時」「授業（学習）が始まる時」「部活動が始まる時」等々、様々な場面に遭遇します。その時の自分自身は、どんな気分になっているのでしょうか。「さあ、がんばるぞ!」という気持ちが湧く環境を一人一人が整えることも大切なことだと思います。「落ち着いた雰囲気」「きれいな教室」等、身近な環境に一人一人が目を向けてみると、そこにきっと「グッド・フィーリング」が感じられると思います。

### 2 子どもが伸びようとする時・・・

子どもたちが伸びようとする時、私たち大人は、真綿で包むような接し方をしてはならないし、転ばぬ先の杖であってはならないと考えます。もちろん、いじめに遭っていたり、体罰を受けていたり、虐待を受けていたりした場合は、躊躇なく保護せねばなりません。しかし、日々の中で起こるストレス、例えば友達同士の言い争いや教員や保護者の方からの叱責などは、勇気をもって見守ることも必要だと感じることがあります。しかしその場合、介入するタイミングさえ間違わなければ大丈夫だと考えます。人は「嫌い」な者に話しかけたり、注意したりはしないものです。「嫌い」の反対は、「好き」ではなく「無関心」だとも言われます。言い争いになったり、叱責されたりするのは、その人に「関心」があるからだと思います。そのことを知った上で、そう対応するか。その子どもにとってはストレスかもしれませんが、同時に人間関係を学ぶ大きなチャンスでもあるのではないのでしょうか。自分のことを自分では永遠にみることはできません。ぶつかり合う相手こそが自分を映し出す鏡、自分を改善するヒントを与えてくれる鏡であるとも言えるのではないのでしょうか。「人は自分に賛同してくれる人」といって快適だが、自分に賛同しない人といると成長する」（フランクAクラーク 作家・アメリカ）という名言があります。隠された悪を注意深く拒みながら、子どもの生活環境、生活の様子を温かく見守ることが、子どもの力を伸ばすコツだと思いますが、如何でしょうか。